

夏の屋上菜園 7月7日

毎年テーマをきめて作付けする。
今年はトマトとナスを中心に。
トマトは大玉、小玉とあわせて
6種類50本、収穫目標2,000個
だった(ほぼ達成)



栽培

黒澤義教撮影

腐葉土づくりと タネとり

冬は園芸のオフシーズンではありますが、
来シーズンにむけての仕込みをはじめる
だいじな時期でもあるんだよ！

ニダわり！
プランター
栽培 ②

東京・板橋区 安藤康夫



秋の屋上菜園 10月25日

ダイコンが元気！ 春に植えたナス(奥)やサツマイモ(手前土のう袋)も、最後のふんばりをみせる

毎朝、日の出とともに屋上に立ち、野菜の成長を観察する……。四季の移ろいの風を感じる、最高のひとときです。
思えば8年前、ホームセンターで買ったナスとオクラとシソの苗を、小さなプランターにいっしょに植えて、みごと失敗。栽培の知識はゼロでしたが、凝り性な私は、プランターでも畑に負けない作物をそだてたいと、さまざまな書物を読みあさり、探究し続けました。野菜をそだてる前に、野菜が気持ちよくそだつ環境をつくること。小さなプランター内に森の微生物たちの多様性をどれだけとりこめるか。私が探究してきた栽培のキモはここにあります。
都会のビルの屋上でも、土や野菜の残渣を外にもちださず(捨てず)、害虫と天敵のバランスがとれた生態系をつくり、タネとりを繰り返して野菜の子孫をつなぐ。そんなプランター栽培の奥義を紹介したいと思います。